Creative Enzymes®

クレアチンキナーゼ BB フラクション ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0139

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	脳型クレアチンキナーゼ、またはCK-BBとして知られるものは、人間ではCKB遺伝子によってコードされるクレアチンキナーゼです。この遺伝子によってコードされるタンパク質、CK-BBは、2つの同一の脳型CK-Bサブユニットからなるホモダイマーで構成されています。BB-CKは細胞エネルギー恒常性に関与する細胞質酵素であり、酵素の特定の部分は細胞膜、ATPアーゼ、および細胞内のさまざまなATPを必要とする酵素に結合しています。
用途	ヒトクレアチンキナーゼBB分画は、急性心筋梗塞後の患者における□延□皮的冠動脈介入の生存利益を調□するために使用されてきました。ヒトクレアチンキナーゼBB分画は、タンパク質の酸化とそれに伴う機能喪失を分析する研究にも使用されています。
別名	CKB; 脳型クレアチンキナーゼ; CKBB; B型クレアチンキナーゼ; クレアチンキナーゼ-B; クレアチンキナーゼB鎖; B-CK; 脳型クレアチンキナーゼ; クレアチンキナーゼBB; CK-BB; BB-CK

製品情報

種	人間
由来	ピキア・パストリス
形態	液体
純度	> 90% (SDS-PAGE)
濃度	> 1.0 mg/mL
緩衝液	50%グリセロール、10 mM Bis-Tris-HClを含むTrisバッファー、0.5 mM DTT、0.5 mM EDTAの溶液
代謝□路	アルギニンとプロリンの代謝、特定の生物系; アルギニンとプロリンの代謝、保存された生物系; クレアチンの代謝、特定の生物系; クレアチン□路、特定の生物系; クレアチン□路、保存された生物系; 代謝□路、特定の生物系; 代謝、特定の生物系
機能	ATP結合; クレアチンキナーゼ活性; ヌクレオチド結合
単位定義	1つのユニットは、37°Cでクレアチンリン酸からADPに1.0 μmoleのリン酸を1分あたり転送します（結合反□によって生成される1等モルのNADHとして340 nmで測定）。

保管・発送情報

安定性	−70°C